

しまねの河川と海岸だより

平成29年10月号

発行：島根県土木部河川課

〔目次〕

- | | | |
|-------------------------------|-----|----------------|
| ◆ 須佐小学校で「川づくり」について出前講座を行いました！ | 河川課 | 河川海岸整備G
防災G |
| ◆ 第2回斐伊川水系宍道湖北西域川づくり検討委員会を開催 | 河川課 | 企画調査G |
| ◆ 益田川水系今市川の河川改修が完了しました！ | 河川課 | 河川海岸整備G |



須佐小学校で「川づくり」についての 出前講座を行いました！

島根県河川課 防災G・河川海岸整備G

須佐小学校（出雲市佐田町）の4年生は、総合的な学習の時間で学校の横を流れる須佐川の環境や生き物等を調査されており、5年生は理科で流水のはたらきについて学習されています。その学習の一環として、川づくりについての出前講座を行いました。

クイズを交えながら、川のはたらき、須佐川の水質や生き物、過去の洪水被害や河川工事、気象や防災に関することをお話しました。

皆さんとても熱心に話を聞き、積極的に発表してくれました。

これを機会にますます川について関心を深め、学習に取り組んでほしいと思います。



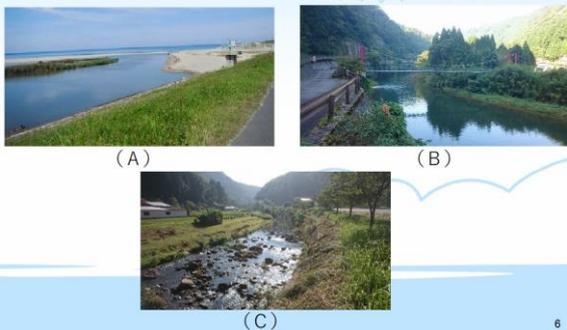
<授業の様子>



たくさん発表してくれました

川のはたらき

【問題】下の写真は川の上流・中流・下流のどこでしょうか？



*クイズ形式で川の学習を行いました！

須佐川の河川工事

【問題】川の流れが速いのは、カーブの内側・真ん中・外側のどこでしょうか？
ただし、石や木などの障害物の影響はないものとします。

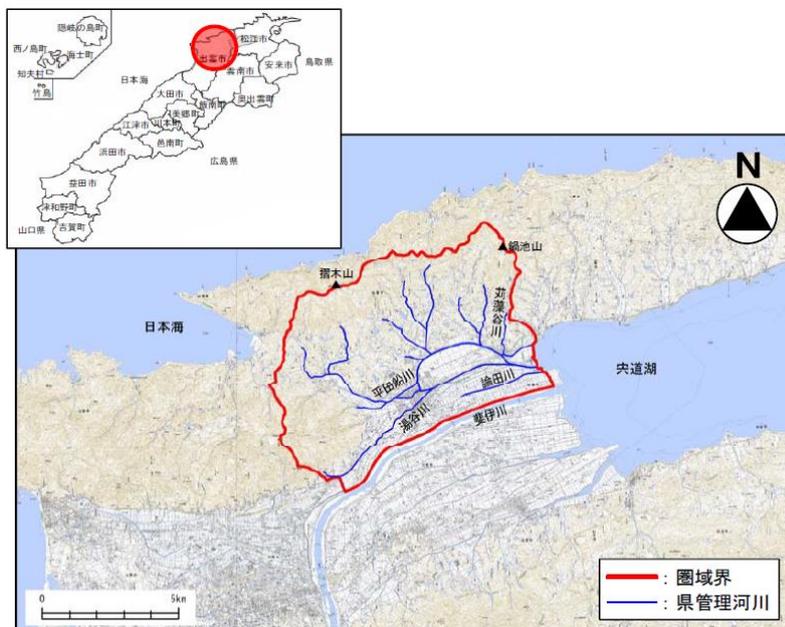


【児童の感想】

- ・洪水被害から人を守るだけでなく、川の生き物のことも考えて工事をしていることが分かって良かったです。（5年生）
- ・なぜ川にコンクリートがあるのだろうとっていて、水がいから守るためと知ってびっくりしました。（4年生）

第2回斐伊川水系宍道湖北西域川づくり検討委員会を開催

河川課企画調査グループ



斐伊川水系宍道湖北西域圏域図



開催状況



説明状況

平成 29 年 3 月に開催した第 1 回斐伊川水系宍道湖北西域川づくり検討委員会での委員意見及び住民意見聴取（アンケート）の結果を反映させた「斐伊川水系宍道湖北西域河川整備計画（原案）」について学識委員、地元委員及び行政委員に審議するため、平成 29 年 10 月 2 日に第 2 回委員会を開催しました。

委員会では治水に関する意見だけでなく、雲洲平田船川の河川環境や歴史的な景観に関することなど様々な意見をいただきました。

今後の予定

今回の委員会での意見を反映させ、「斐伊川水系宍道湖北西域河川整備計画（案）」を作成後、関係市である出雲市に意見照会を行ったうえで、国に認可申請をします。

※提供資料については、以下の河川課HPを参照して下さい。

http://www.pref.shimane.lg.jp/infra/river/kasen/hoshin/hiikawashinjikohokusei_kawadukuri/hiikawashinjikohokusei_kawadukuri.html



歴史的な景観である
切妻妻入り塗家造りの街並み

河川整備計画とは？

国土（県土）全体のバランスを考慮し、長期的な観点にたって河川整備の目標を定めた「河川整備基本方針」に沿い今後 20～30 年で実施する河川整備の内容を記載した計画のことです。河川の特長や地域の風土・文化の実情等を学識経験者、地域住民等の意見を踏まえて反映したものであり、河川工事や河川維持管理等について具体的に記載しています。

益田川水系今市川の河川改修が完了しました！

河川課河川海岸整備グループ

今市川は益田市中心市街地を流下し、益田川下流部右岸へ合流する流路長約4kmの小河川です。本地区は昭和58年7月に発生した豪雨で大きな浸水被害を受けたことから、平成元年に今市川の河川改修事業（河川の拡幅工事）に着手しました。

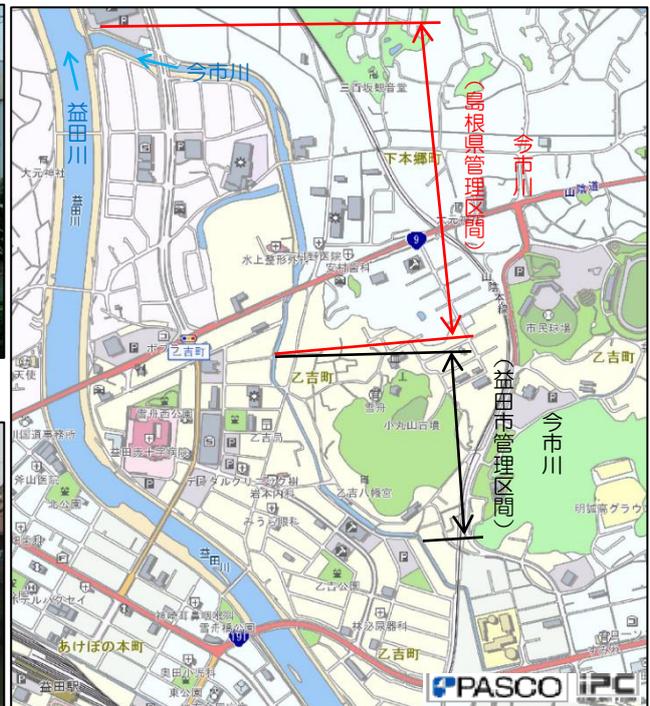
今市川は上流域と下流域で河川の管理者が異なり、上流域は『益田市』が事業主体で現在も河川工事を実施中ですが、下流域は『島根県』が事業主体で、平成29年7月に河川改修工事が完了しました。



整備前



整備後



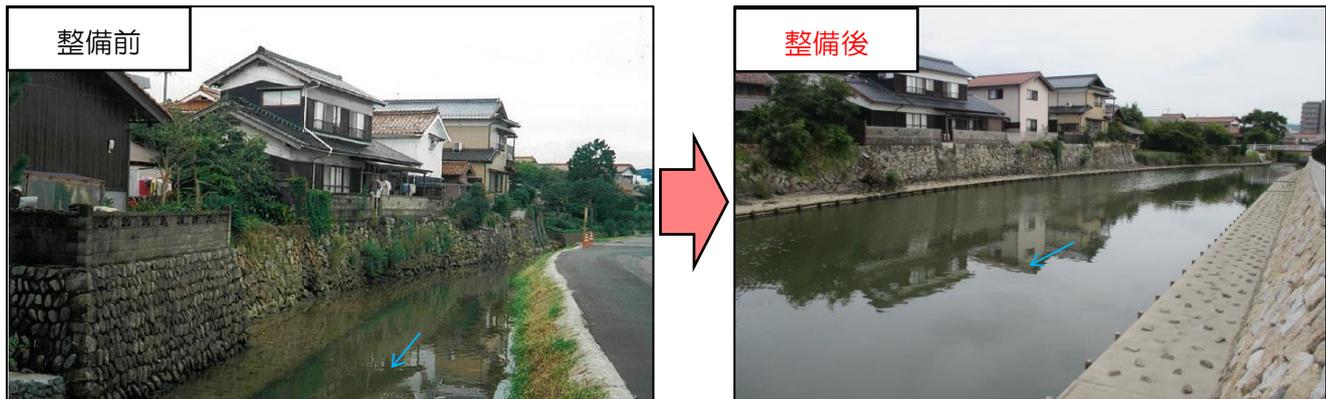
【今市川位置図】

【架け替えをした国道9号今市川橋】

【益田市指定文化財「中世今市船着場」について】

益田川と高津川が現在の川筋になるまでは幾度も流れを変えていますが、室町時代にはこの2つの川が今市（乙吉町）辺りで合流し、日本海へ注いでいたと考えられています。中世の今市は、温泉津、浜田、長浜などとともに海上交通の要地であり、海洋領主「益田氏」が行った国内外各地の交易の拠点になっていました。

河川改修事業区間に残存していた河畔の護岸状石垣は、これら中世の益田の繁栄を物語る貴重な史跡遺産として益田市の指定文化財となっており、この史跡を残す形で河川改修を実施しました。



【中世今市船着場の石垣を残した河川整備】

工事により河川の流下能力が向上し、昭和58年7月相当の降雨に対しても家屋の浸水被害を防ぎ、人命や財産を守ります。

【編集後記】 河川課 企画調査グループ 高橋

今月は、出雲市の須佐小学校において川づくりに関する出前講座を行いました。過去の大規模災害を知らない世代の子供たちに、身近な河川でも起こりうる災害の恐ろしさや防災の大切さなど、興味を持って学習してもらうことができました。

また、10月22日～23日に日本列島を襲った超大型の台風21号では、島根県も台風の強風域に入り、各所で豪雨が発生しましたが、幸いにも大規模な被害の発生はありませんでした。

しかしながら、近年の気象状況をみると災害はいつ発生するか分からない状況となっており、日頃から防災に関する意識を高く持つことが必要です。

万が一の状況に備え、家庭内でも避難場所や非常用品の確認など、防災に関する話をしてみてはいかがでしょうか。

さて、島根県河川課では、今後も河川・海岸に関する話題・情報を提供したいと思います。バックナンバーは河川課ホームページにも掲載していますのでご覧ください。

編集者 島根県土木部河川課企画調査グループ

TEL : 0852-22-5647 FAX : 0852-22-5681

mail : kasen@pref.shimane.lg.jp

河川課 しまねの河川と海岸だより HP : <http://www.pref.shimane.lg.jp/infra/river/kasen/tayori/>